

よりよい男女共同参画を目指して — 日本外科学会としての取り組み —



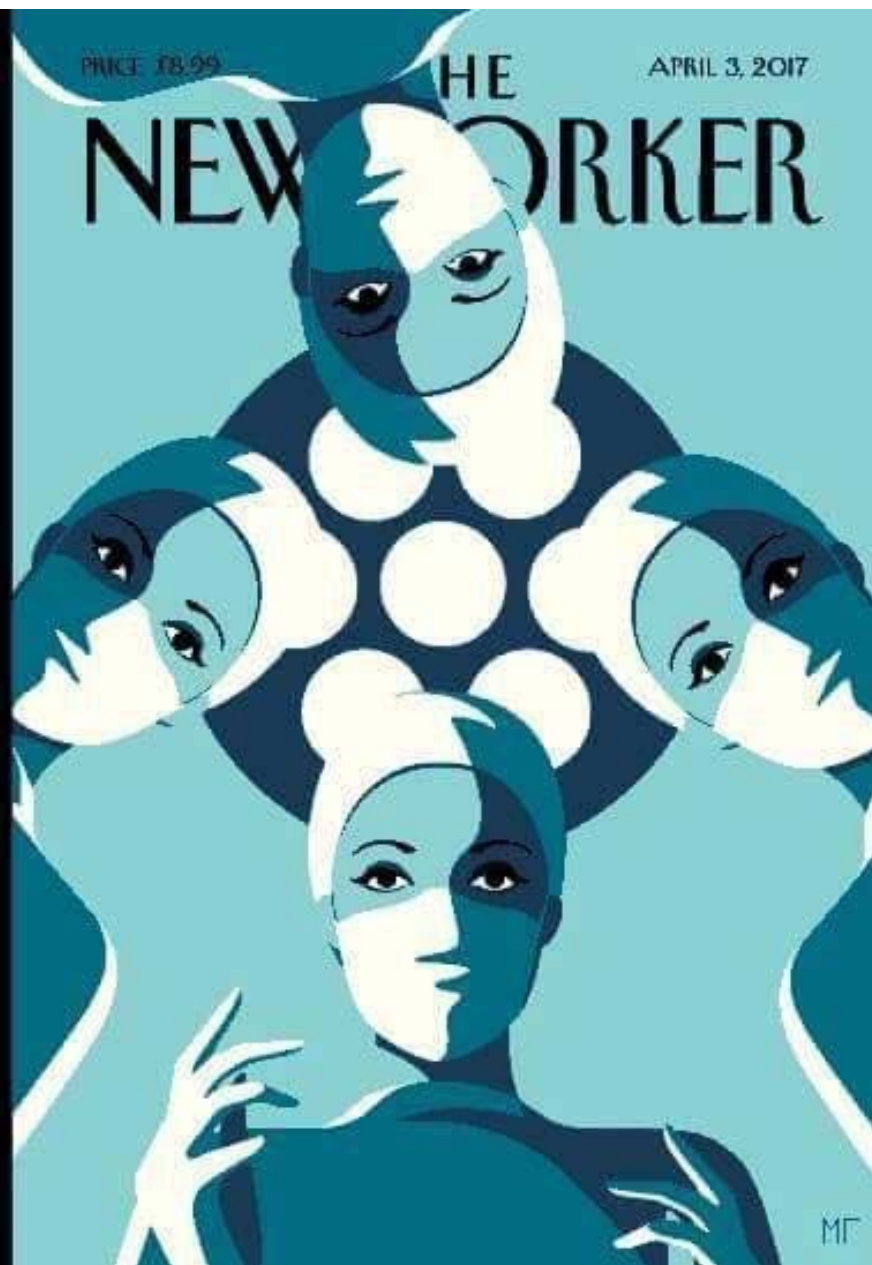
日本外科学会男女共同参画委員会委員長

中村 清吾

昭和大学医学部外科学講座乳腺外科学部門

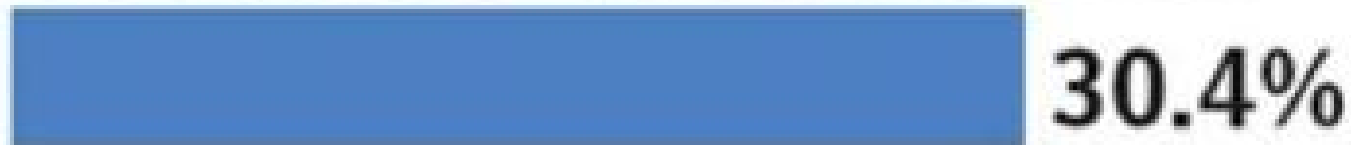
COI開示

本演題発表内容に関連し、開示すべきCOI
はありません。



Women surgeons around the world are recreating the front cover of *The New Yorker's* latest issue to fight against stereotypes of the male-dominated industry.

US doctors who are women



US surgeons who are women

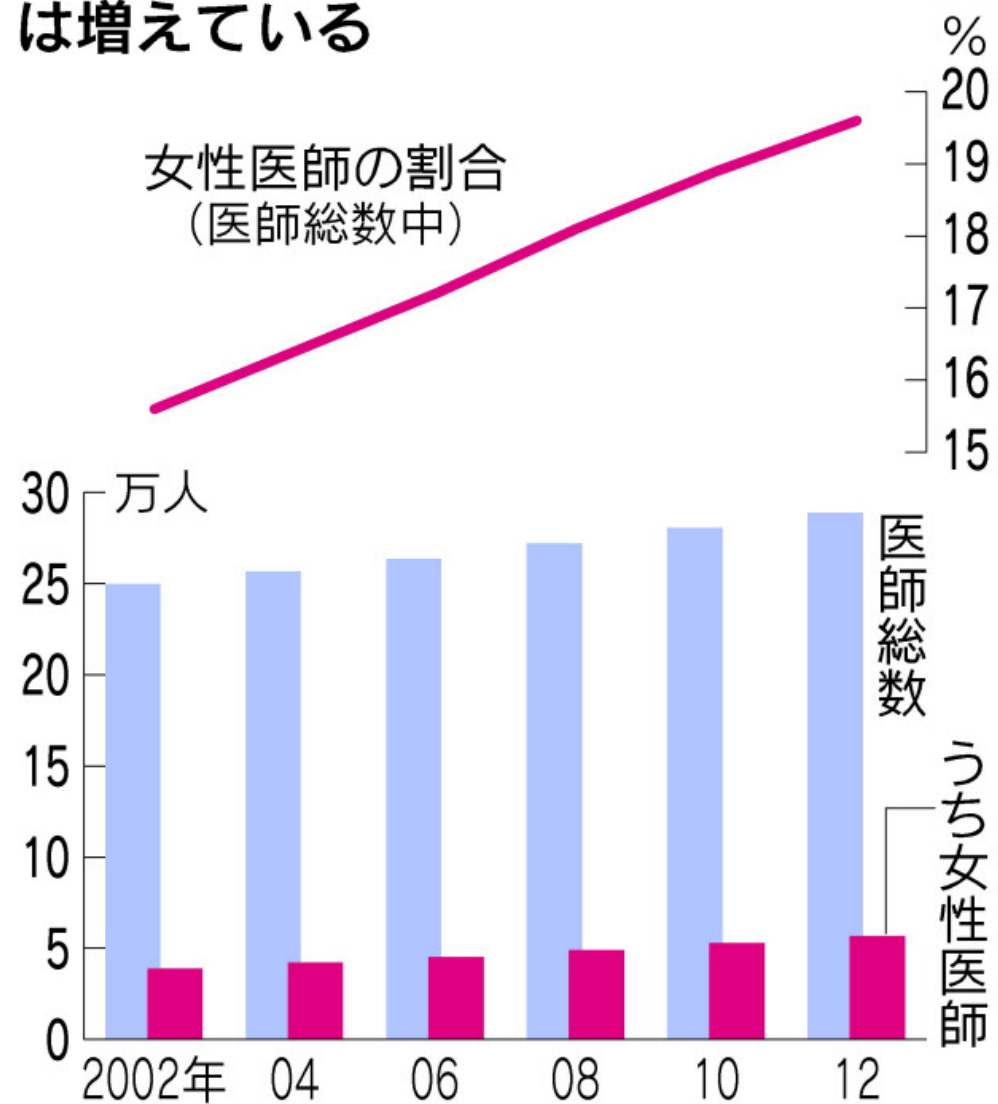


General, neurological, orthopedic, plastic, vascular, and thoracic surgeons

SOURCE: Association of American Medical Colleges, 2010 data

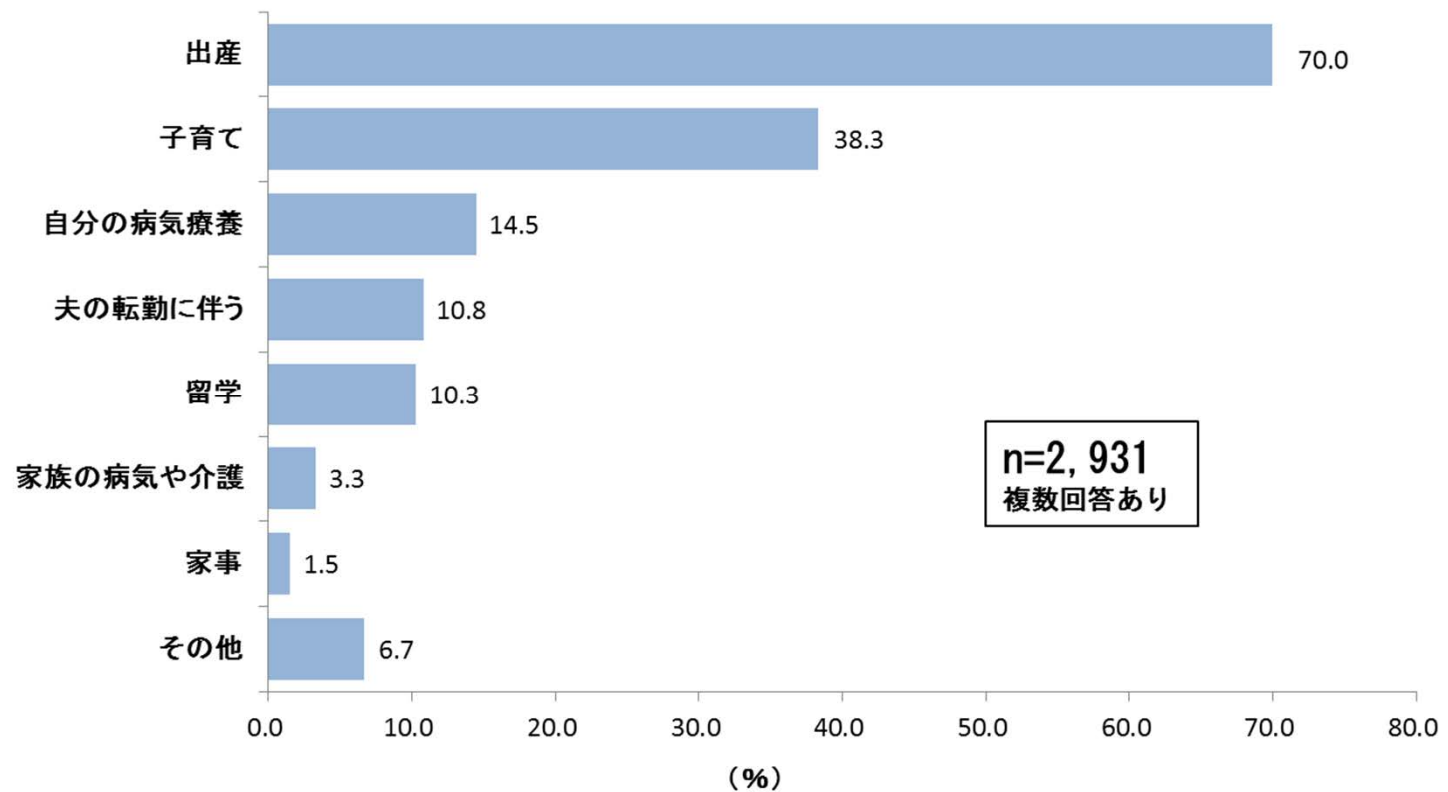
GLOBE STAFF

医療施設に勤務する女性医師の割合 は増えている



(出所)厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師」調査より

女性医師の休職・離職理由



日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

女性医師の産休・育休での問題点

産前産後休業取得の不徹底

- ・約20%が休業・退職
- ・非常勤者に対しての制度不備

 徹底取得への整備

低い育児休業取得率

- ・周囲の無理解 ・本人の遠慮
- ・キャリアの中断

 代替医師制度の整備

妊娠・出産・育児中の対策

- 時短勤務
- 画像診断、病理診断等関連分野の学習
- 臨床研究
- 論文作成
- e-Learning (専門医取得、更新の単位)
- 在宅(遠隔)診療への参画

育児・介護休業法の短時間勤務制度について

事業主は、3歳未満の子を養育する労働者について、労働者が希望すれば利用できる短時間勤務制度を設けなければならない。

※1日の所定勤務時間を原則として6時間とする処置を含むものとする。

対象となる労働者は・・・

- ①3歳未満の子を養育し、育児休業をしていないこと。
- ②日々雇用される労働者でないこと。
- ③1日の所定労働時間が6時間以下でないこと。
- ④労使協定により適用除外とされた労働者でないこと。

日医勤務医の労務管理に関する分析・改善ツール

7領域35問のチェックリストで現状把握・分析

- 1) 労働時間管理に関する勤務医への周知
- 2) 労働時間の適正把握
- 3) 労働時間・休憩・休日の取扱い
- 4) 時間外・休日労働協定(36協定)
- 5) 割増賃金
- 6) 勤務医の安全と健康の確保
- 7) 女性勤務医の就労支援

- ・ 男女雇用機会均等法による母性健康管理の措置
→ 妊産婦の時間外労働の制限、健康診査を受けるための時間の確保、不利益取扱いの禁止等
- ・ 労働基準法における母性保護規定
→ 産前産後休業、危険有害業務の就業制限等
- ・ 育児介護休業法における育児のための両立支援制度
→ 育児休業、短時間勤務制度、所定外労働の制限、子の看病休暇、不利益取扱いの禁止等

改善項目の選定

労働環境改善

代替医師制度の整備

ただし、外科(手術)は代替は難しい。
しかし、術後管理や外来診療はできるかも。
All or Noneではない対応を...

群馬県医師会
保育サポーターバンク

保育サポーターバンクは群馬県医師会が運営する子育て中の医師の育児を支援するサービスです。

文字サイズ変更 小 中 大 [ホーム](#) [お問い合わせ](#)

保育サポーターバンクとは?
支援の流れ
保育サポーターバンク概要
支援申し込み
サポーター登録
利用者の声
リンク

保育サポーターが子育て中の医師の
子どもの保育を支援

保育サポーターバンク
ママさん医師等とサポーターとの
連携により、医師不足の解消に
つながり地域に貢献できます。

子育て中の医師の仕事と家庭の
両立をサポートします

保育サポーターの方へ
群馬県医師会では、県内の子育て中の医師
の子どもの保育をサポートしていただける保
育サポーターを募集しています！

働く子育て医師の方へ
群馬県医師会では、育児と仕事を両立でき
るための支援を実施しています。ニーズに
合ったサポーター探し、保育相談員がコー
ディネートします。

新着情報
2012.7.6 保育をサポートしていただける方を募集中です！お気軽にお問い合わせください。
2012.7.6 群馬県内で働く子育て医師の方に！子育て支援ホームページオープンしました。

このページのTOPへ戻る

群馬県医師会
子育て支援相談員
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町1-7-4
TEL : 027-231-5311 FAX : 027-231-7667
E-mail : hoku@mail.gunma.med.or.jp (●宛先平均※にてお送りください)

お問い合わせ 080-1115-4176
月～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00

Copyright 2012 群馬県医師会保育サポーターバンク All Rights Reserved

妊娠・出産・育児中の対策

- 時短勤務
- 画像診断、病理診断等関連分野の学習
- 臨床研究
- 論文作成
- e-Learning (専門医取得、更新の単位)
- 在宅(遠隔)診療への参画

専門研修の休止・中断，プログラム移動，プログラム外研修の条件...

- (1) 専門研修における**休止期間は最長120日**とする。1年40日の換算とし、プログラムの研修期間が4年のものは160日とする。(以下同様)
- (2) 妊娠・出産・育児，傷病その他の正当な理由による**休止期間が120日を超える場合，臨床研修終了時に未修了扱いとする**。原則として，引き続き同一の専門研修プログラムで研修を行い，120日を超えた休止日数分以上の日数の研修を行う。
- (3) 大学院(研究専任)または留学などによる研究専念期間が3年の研修期間中**6か月**を超える場合，臨床研修終了時に未修了扱いとする。**ただし，大学院(研究専任)または留学を取り入れたプログラムの場合例外規定とする**。
- (4) **専門研修プログラムの移動は原則認めない**。(ただし，結婚、出産、傷病、親族の介護、その他正当な理由、などで同一プログラムでの専門研修継続が困難となった場合で、専攻医からの申し出があり、外科研修委員会の承認があれば他の外科専門研修プログラムに移動できる。)
- (5) **症例経験基準、手術経験基準を満たしていない場合にも未修了として取扱い**、原則として引き続き同一の専門研修プログラムで当該専攻医の研修を行い、不足する経験基準以上の研修を行う

▶ 「働くドクターストレス調査」のお願い

平成29年4月28日

日本外科学会会員の皆様

一般社団法人日本外科学会
理事長 渡邊 聡明
男女共同参画委員会
委員長 中村 清吾

「働くドクターストレス調査」のお願い

最近、外科医のワーク・ライフ・バランス、バーンアウトが話題になっています。また、外科研修医をやめて他の診療科に移る割合が、男性よりも女性の方がより多い、という論文（Khoushhal Z. JAMA Surgery 2016）が掲載されました。近年、ワーク・ライフ・バランスが尊重される傾向にありますが、仕事とプライベートで生じるストレスは双方に影響を与えていると思われます。

2015年にリクルートワークス研究所が、働くマザー・働くファーザーを対象とした調査を実施し、その結果を「働くマザーのストレス調査報告書」（http://www.works-i.com/pdf/151009_stress.pdf）にまとめました。この報告書では、ストレスを「日常の苛立ち事（デイリーハッスル）」と「人生の大きな出来事（ライフイベント）」に分け、どの項目のストレス度が高いかを「ストレス値」、デイリーハッスルで実際にストレスを感じている人の割合を「デイリー経験率」、ライフイベントでこの1年で経験した人の割合を「イベント経験率」として集計した斬新な調査を行いました。

この度、この「働くマザーのストレス調査報告書」をまとめられた主任アナリストの萩原牧子氏の協力を得て、18歳未満の子供を持つ/子育て中の外科医のストレスを仕事と家庭の両面から一緒にとらえた調査を企画しました。この調査結果から、仕事とプライベートでの外科医のストレスを理解し、解決策を見だし、ワーク・ライフ・バランスの改善に役立てることができたら幸いです。

なお、会員専用ページにログイン後、本アンケートへの回答には、15分くらいかかります。途中で一時保存はできません。

また、御回答いただいた内容により、個人が特定されることはありません。アンケートの回答は全て個人が特定出来ないよう処理をした上で使用させていただきます。

ご多忙中、恐縮ではございますが、ご協力をいただきたく、5月18日（木）午後5時までに御回答をよろしくお願いいたします。

アンケート集計結果は日本外科学会のホームページなどで公開する予定です（個別の回答内容や回答者の氏名・施設などは一切公開いたしません）。

謹白

育児・介護休業法の所定外労働 の制限について

3歳未満の子を養育する従業員が申し出た場合には、事業主は、その従業員を、所定労働時間を超えて労働させてはならない。

対象となる従業員は、以下のいずれにも該当する男女労働者です。

- ①3歳未満の子を養育する従業員であって、育児休業をしていないこと
- ②日々雇用される従業員でないこと
- ③1日の所定労働時間が6時間以下でないこと
- ④労使協定により適用除外とされた従業員でないこと

妊娠・出産・育児中の対策

- 時短勤務
- 画像診断、病理診断等関連分野の学習
- 臨床研究
- 論文作成
- e-Learning (専門医取得、更新の単位)
- 在宅(遠隔)診療への参画

今後、外科療法（手術療法）の専門医となることを目指す方は、様々な癌腫について、それらの治療における外科療法の位置・役割を知ることが必要です。本eラーニングの共通科目では、腫瘍外科概論のみではなく、消化器、呼吸器、内分泌など様々な領域の外科（手術）療法のエキスパートになるための基盤的知識が提供されます。

こうした知識を学ぶことは、日本外科学会専門医や各領域の外科療法（手術療法）のサブスペシャリティの資格の取得、更新に大いに役立つことでしょう。



CANCER e-LEARNING

がん医療専門チームスタッフのためのeラーニングプログラム

一般社団法人 日本癌治療学会

最小20単位、最大30単位

診療領域別に定める講習会等で取得する単位です。(1時間-1単位を目安)

なお、営利団体が主催または共催するセミナー等はこれに含めません。(ただし、各領域専門医委員会で慎重に審議し、機構によって認められたものについてはこの限りではありません)

外科領域講習(例)	
日本外科学会卒後教育セミナー	2～3単位
日本外科学会生涯教育セミナー	2～3単位
日本外科学会臨床研究セミナー	2～3単位
消化器外科学会 教育講座(eラーニング)	2～3単位
日本血管外科学会教育セミナー	2～3単位
.....	
	1単位/1時間

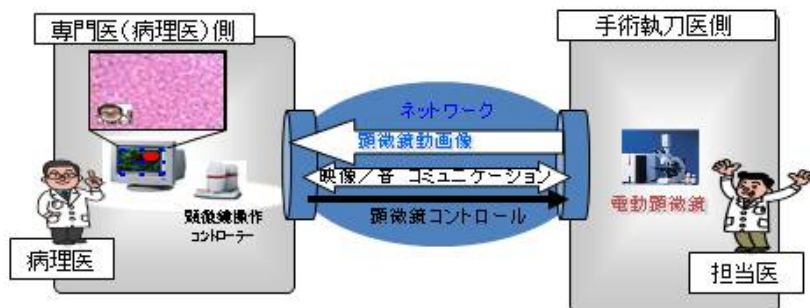
妊娠・出産・育児中の対策

- 時短勤務
- 画像診断、病理診断等関連分野の学習
- 臨床研究
- 論文作成
- e-Learning (専門医取得、更新の単位)
- **在宅(遠隔)診療への参画**

遠隔医療について

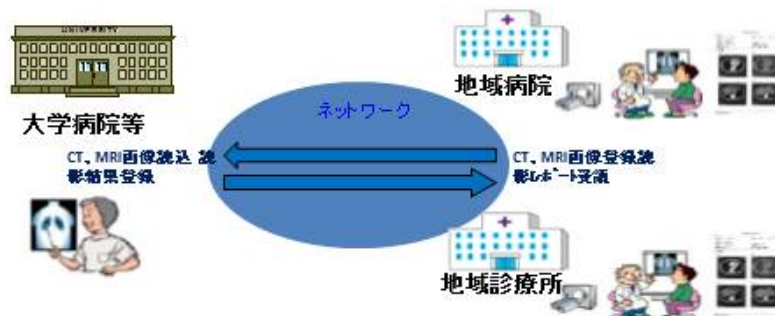
遠隔病理診断(テレパソロジー)

【概要】 体組織の画像や顕微鏡の映像を送受信するなどし、遠隔地の医師が、特に手術中にリアルタイムに行う遠隔診断を行う。
 【効果】 リアルタイムで手術範囲の決定など専門医の判断を仰ぐことができる。



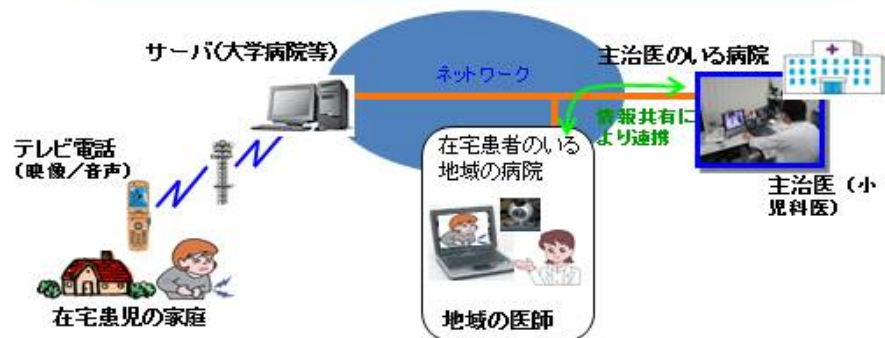
遠隔画像診断(テレラジオロジー)

【概要】 X線写真やMRI画像など、放射線科で使用される画像を通信で伝送し、遠隔地の専門医が診断を行う。
 【効果】 専門医による高度で専門的な診断を受けられる。



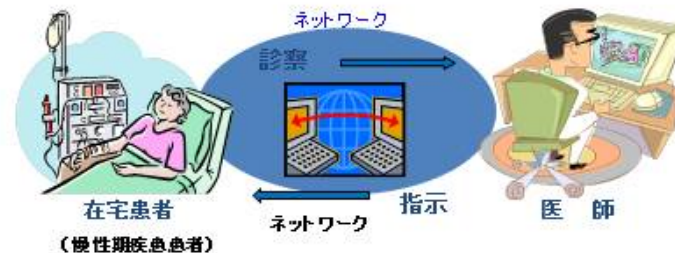
遠隔相談(テレコンサルテーション)

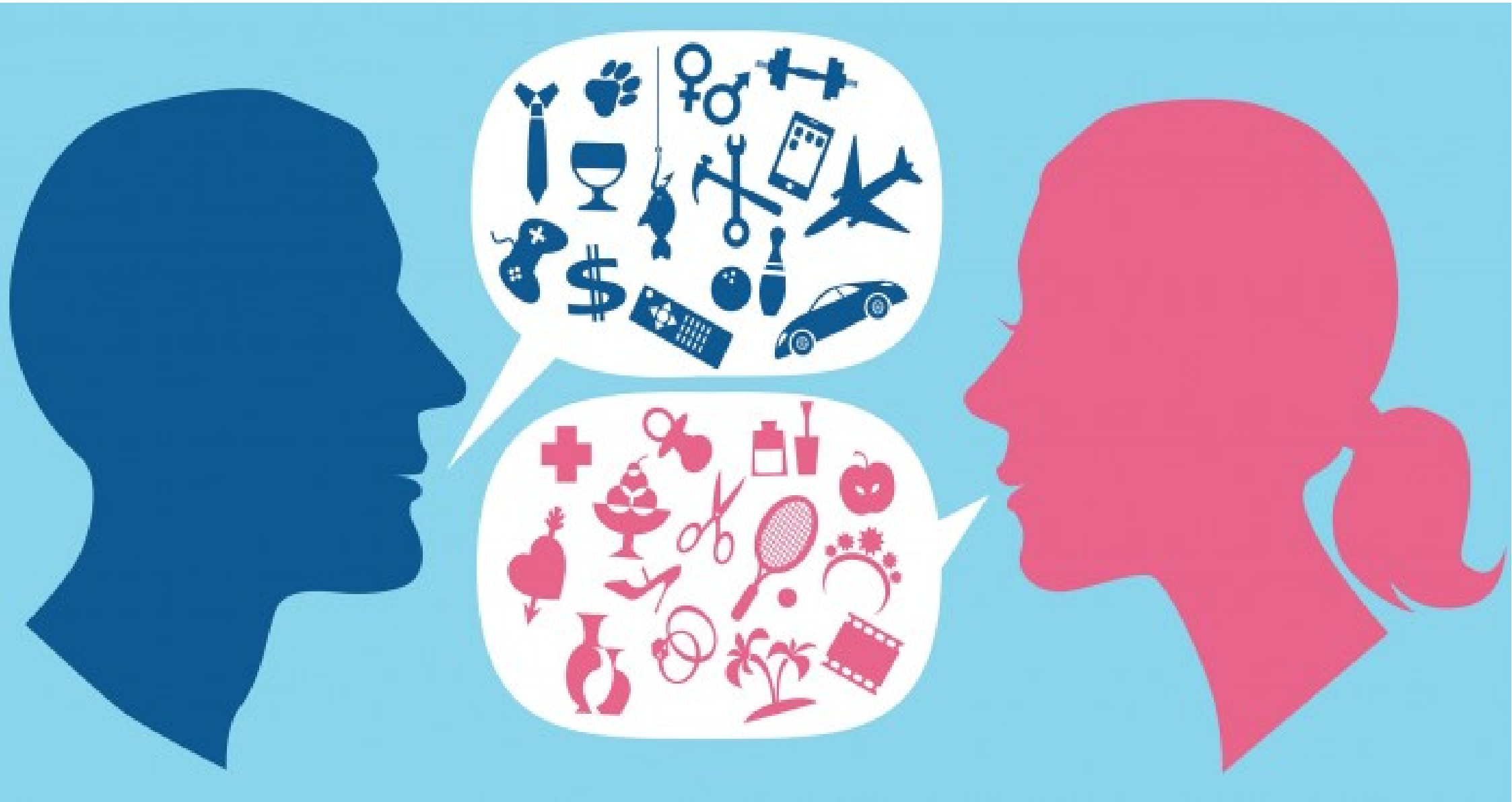
【概要】 画像を見ながら遠隔地の医師との症例検討を行うなど、医師等に指導を行う。また、在宅の患者とのコミュニケーションを図る。
 【効果】 医療の地域間格差の解消、患者やその保護者などの安心感向上につながる。



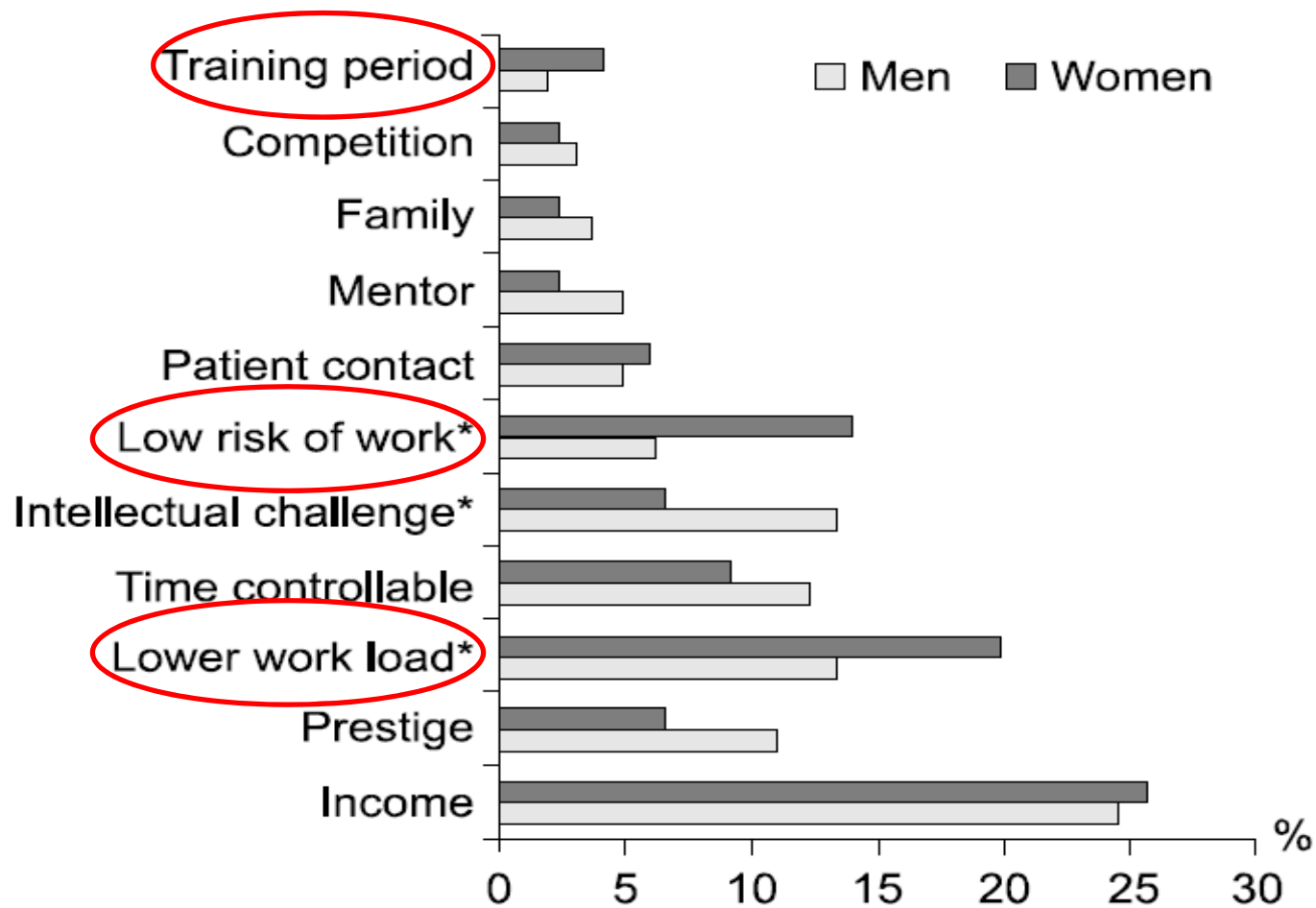
在宅医療(テレケア)

【概要】 情報通信端末で測定した生体情報(体温、血圧、脈拍、尿糖値等)やテレビ電話等を通じ患者の映像・音声等を遠隔地の医師へネットワークを通じ送信し医師に対し有用な情報を提供。
 【効果】 交通インフラが不十分であったり、高齢化・過疎のため受診が困難な慢性期疾患患者に対する医療の提供が可能となる。

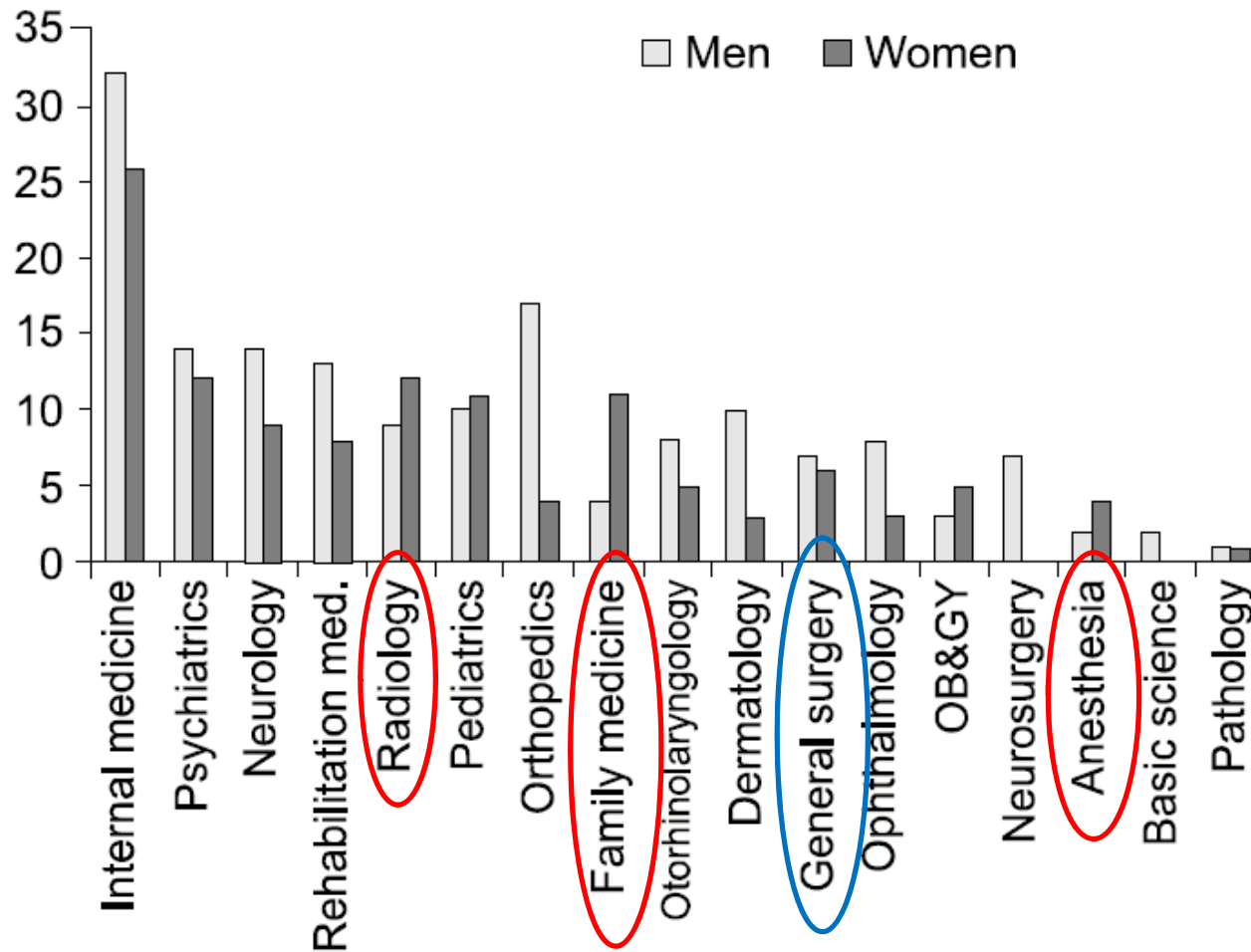




Gender Difference and Specialty Preference in Medical Career Choice



Gender Difference and Specialty Preference in Medical Career Choice



外科の現状—女性外科医が増えている

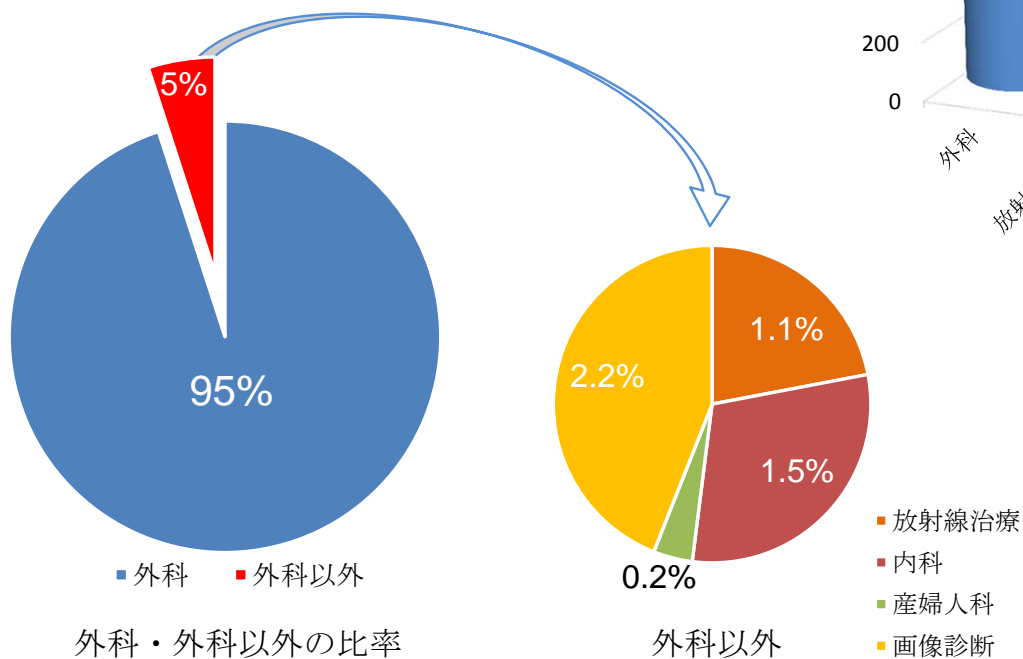
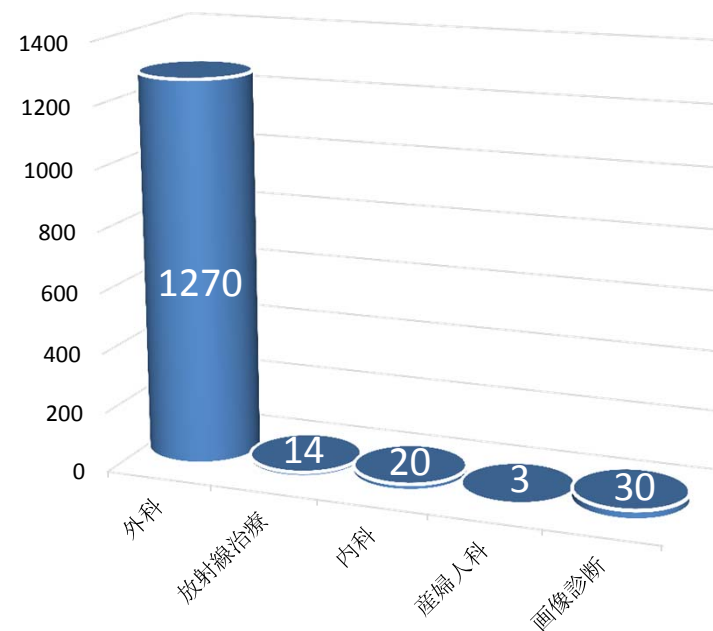
- 若い世代の女性医師が増加している現在、外科においても同様に女性医師の割合が増えている
- 現在外科専門医取得者の22%は女性医師



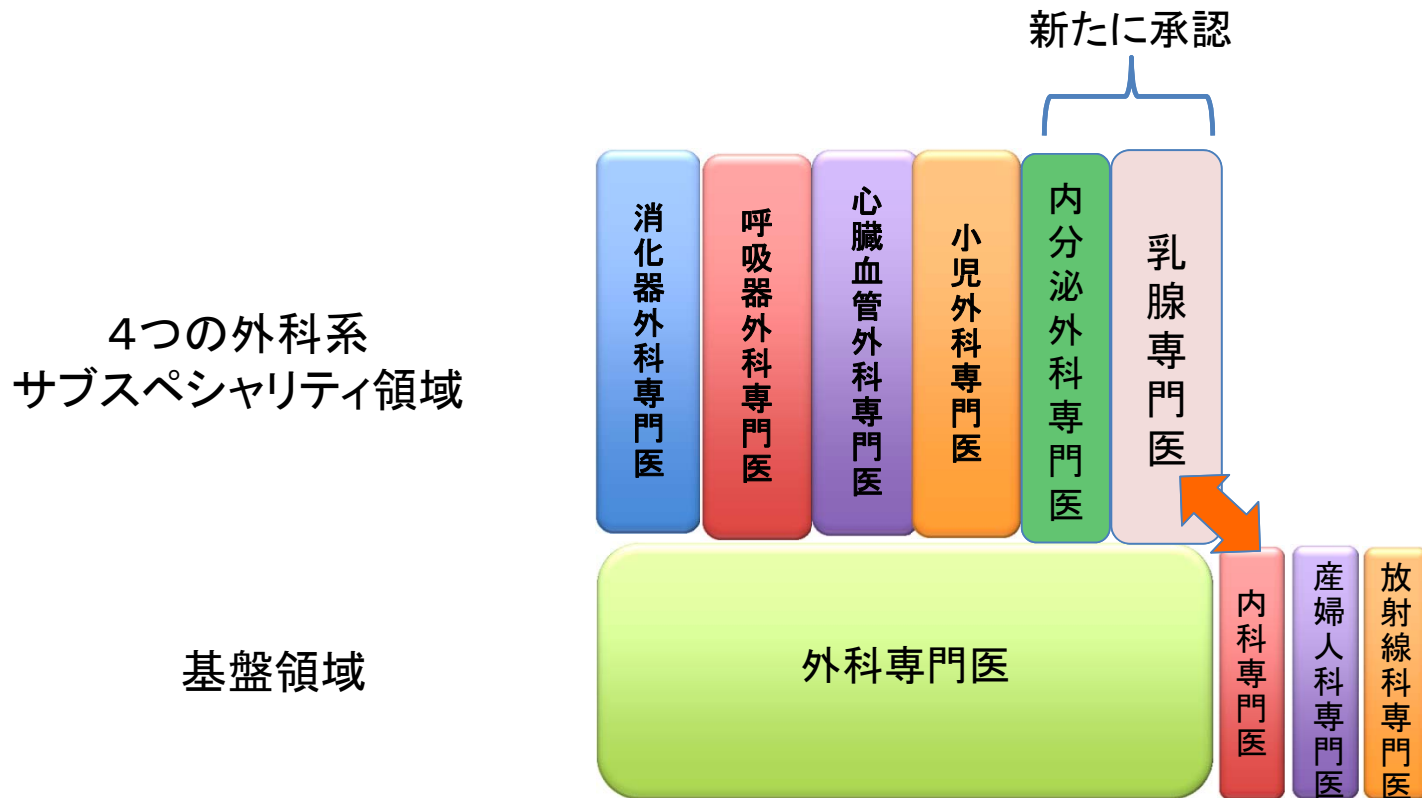
日本乳癌学会 乳腺専門医専門科名別集計

乳腺専門医 2009/1/1以降 新規・更新者		
外科	1,270名	95.0%
放射線治療	14名	1.1%
内科	20名	1.5%
産婦人科	3名	0.2%
画像診断	30名	2.2%
合計	1,337名	

専門科名別人数（人）

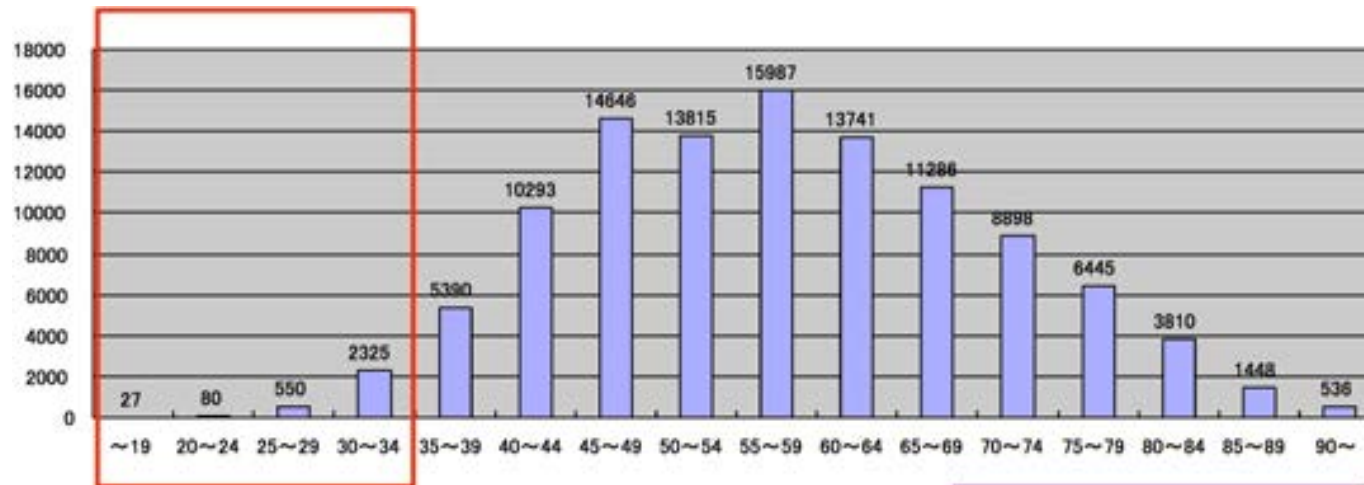


外科専門医とサブスペシャリティの専門医



乳がん患者の年齢分布

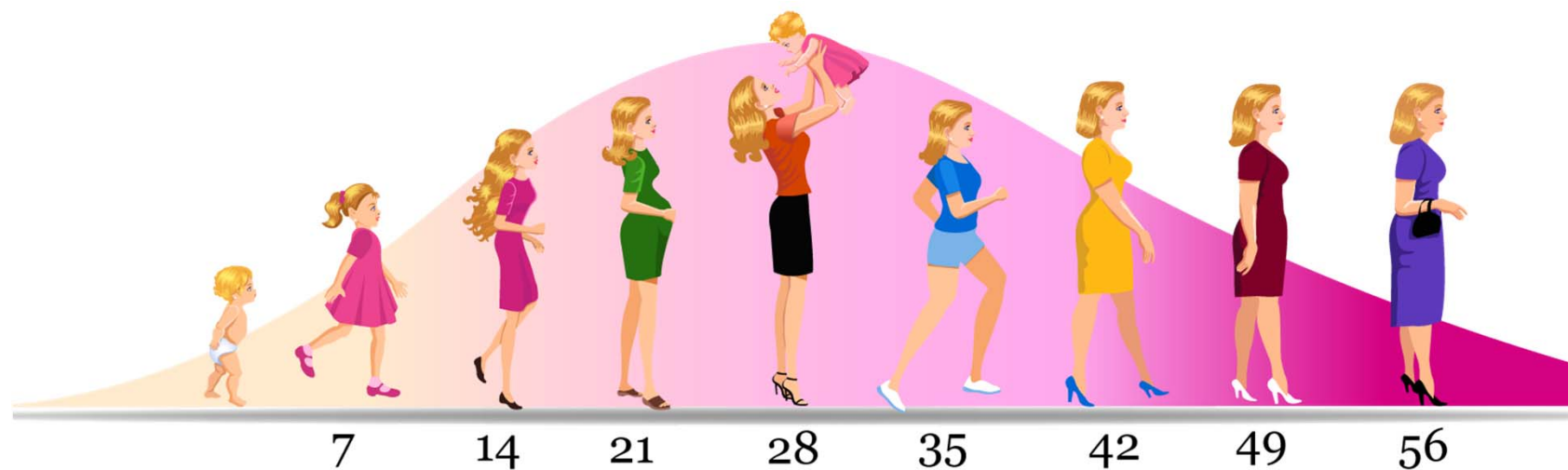
日本乳癌学会乳癌登録データ(2004~2009年) 109,617症例



35歳未満は、2.7%
30歳未満は、0.5%

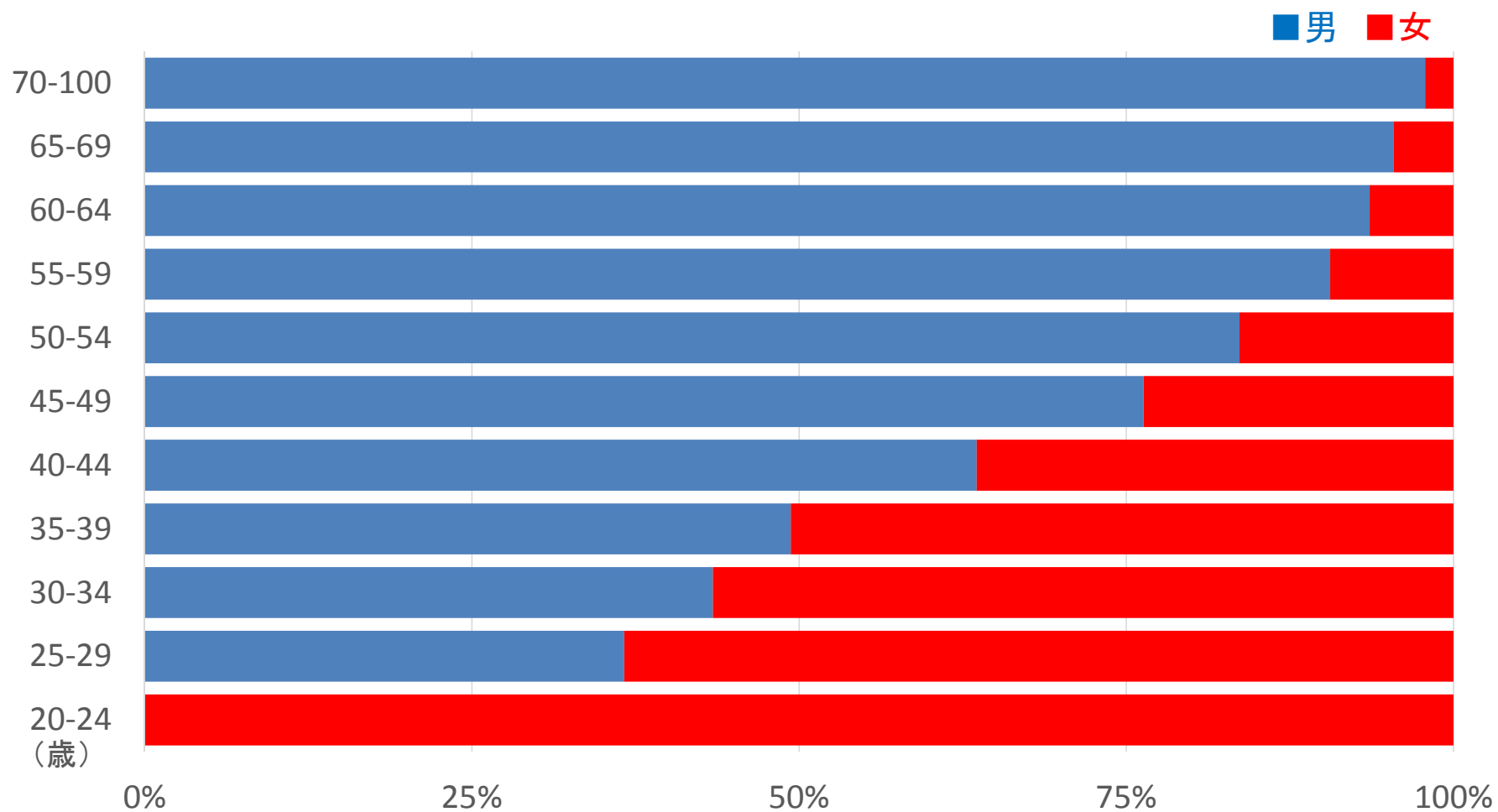
平均年齢 57.4才

厚労科研若年乳がん患者のサバイバーシップ支援プログラム
<http://www.jakunen.com/html/tokucho/yogo.html>

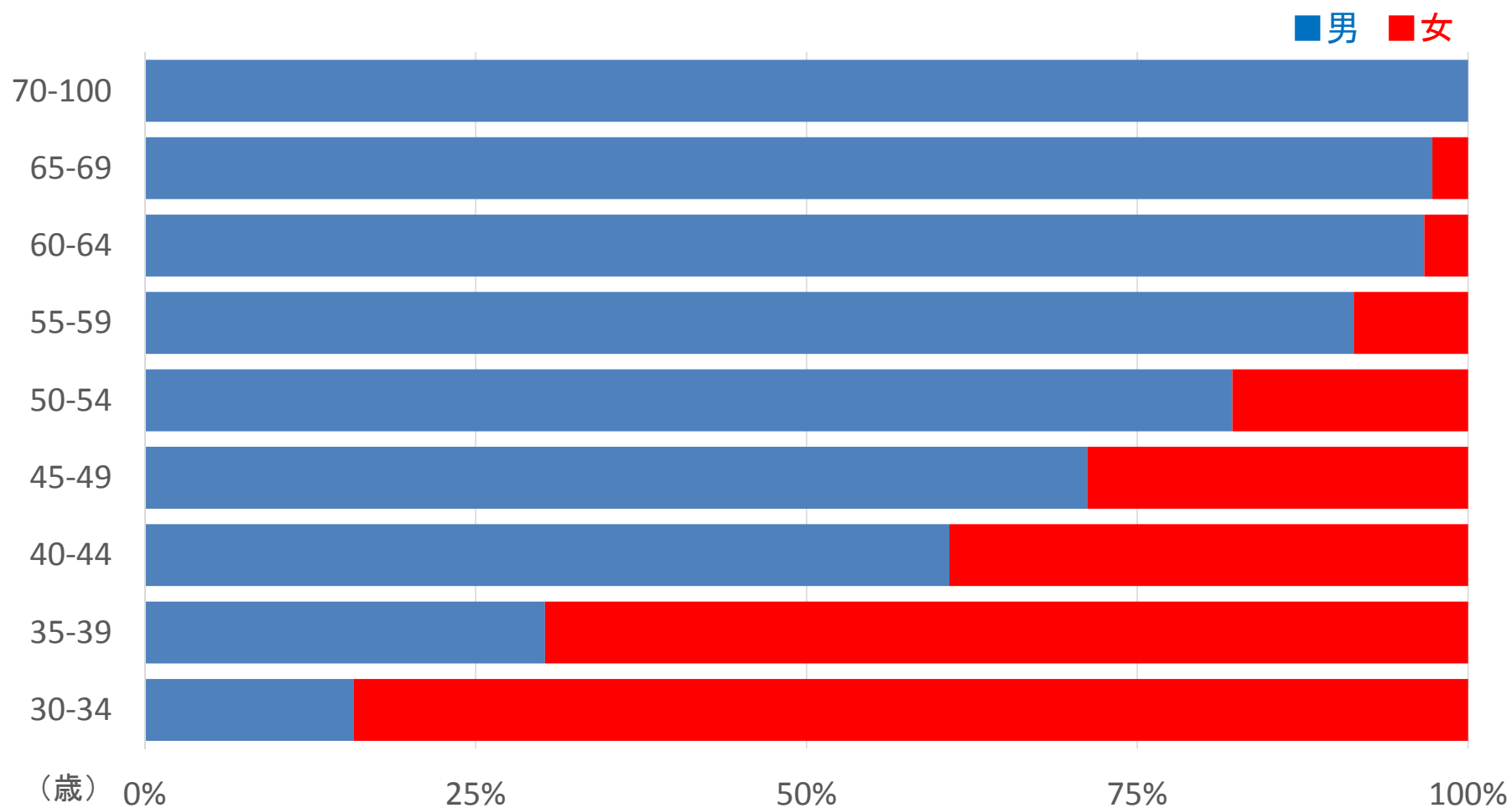


妊孕性温存
妊娠・授乳期乳がん
遺伝性乳がん

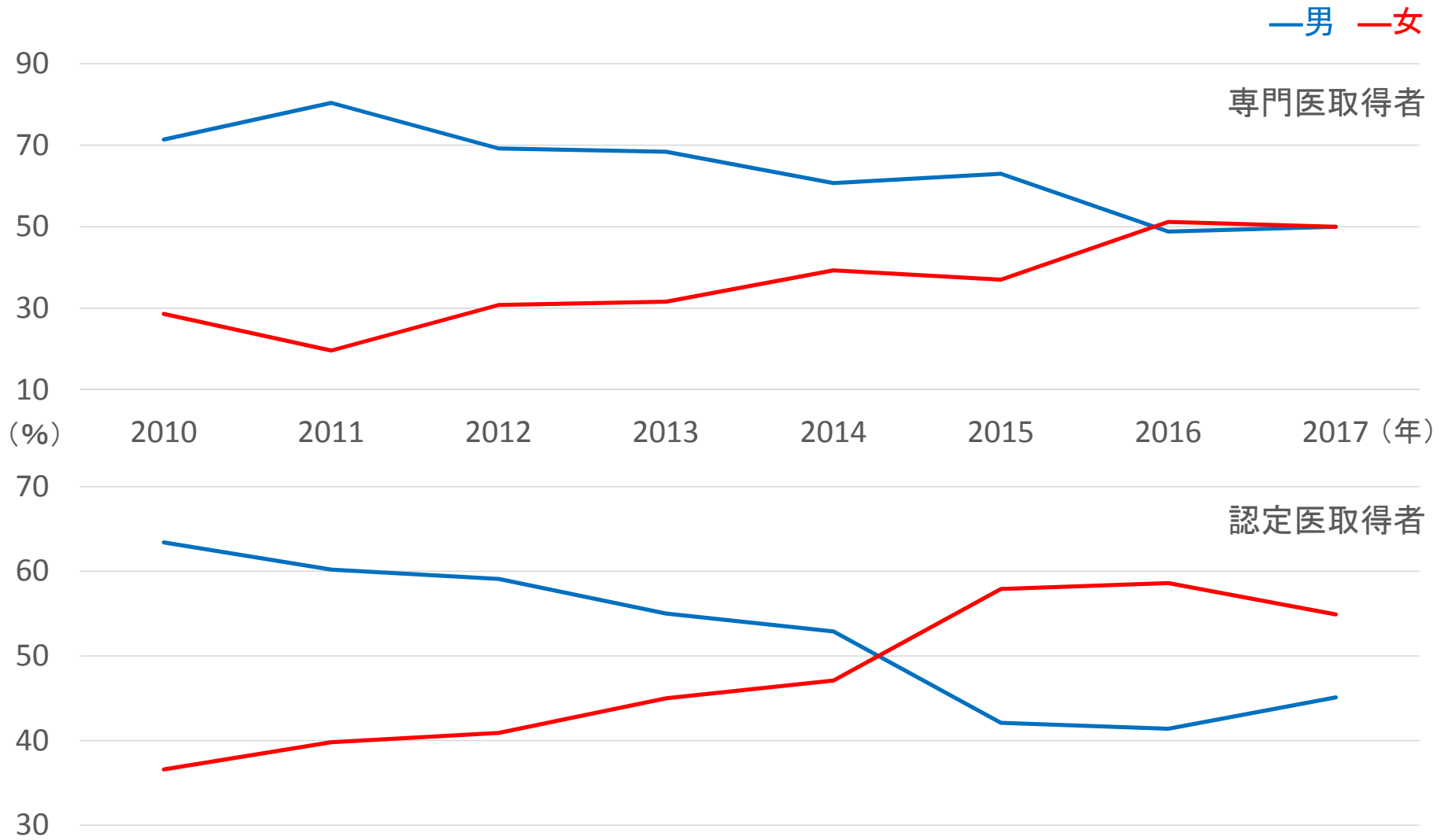
正会員 年齢別 男女比率

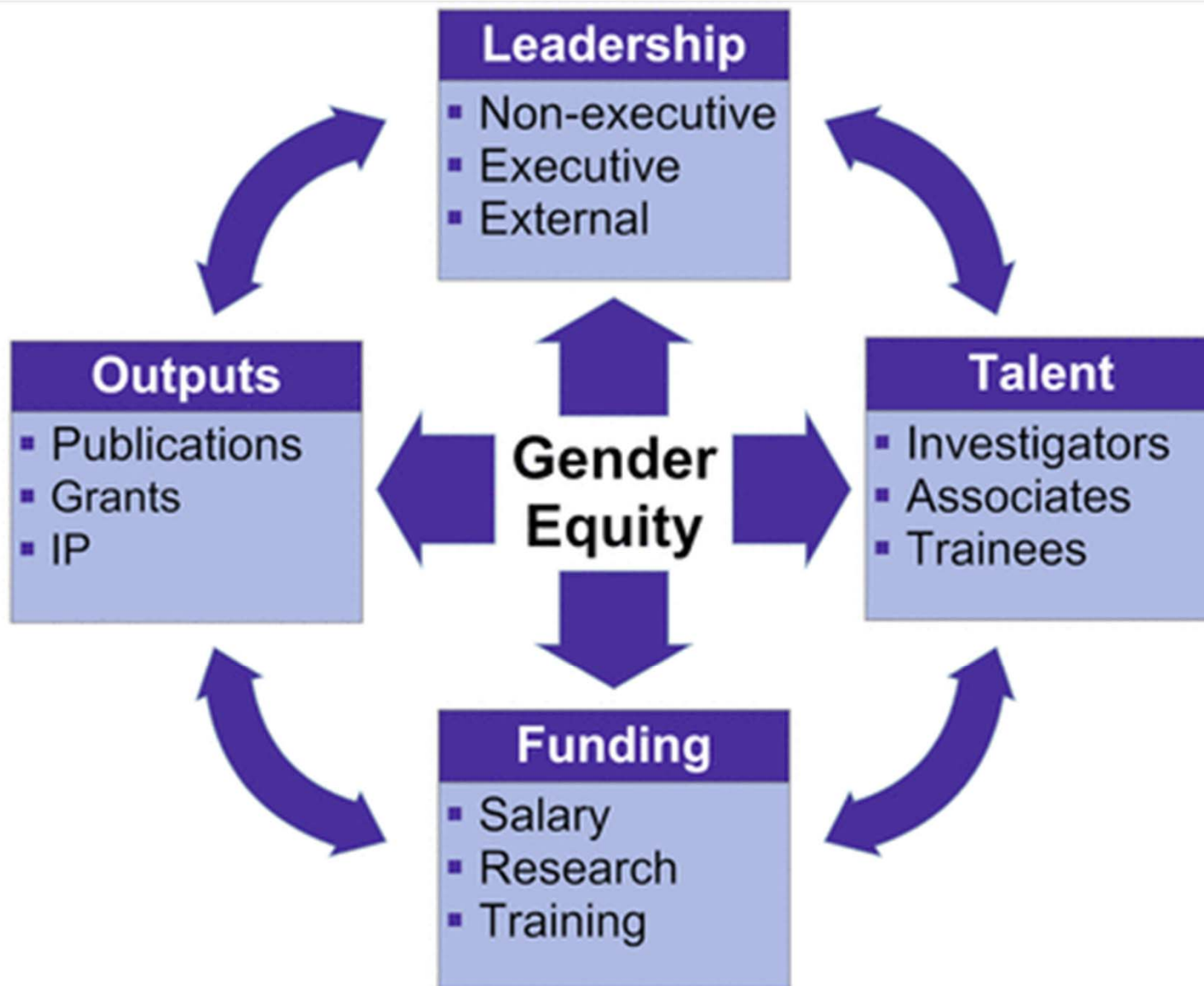


専門医 年齢別 男女比率



専門医・認定医 男女別 取得者比率





妻として、母として、職場の中核として…

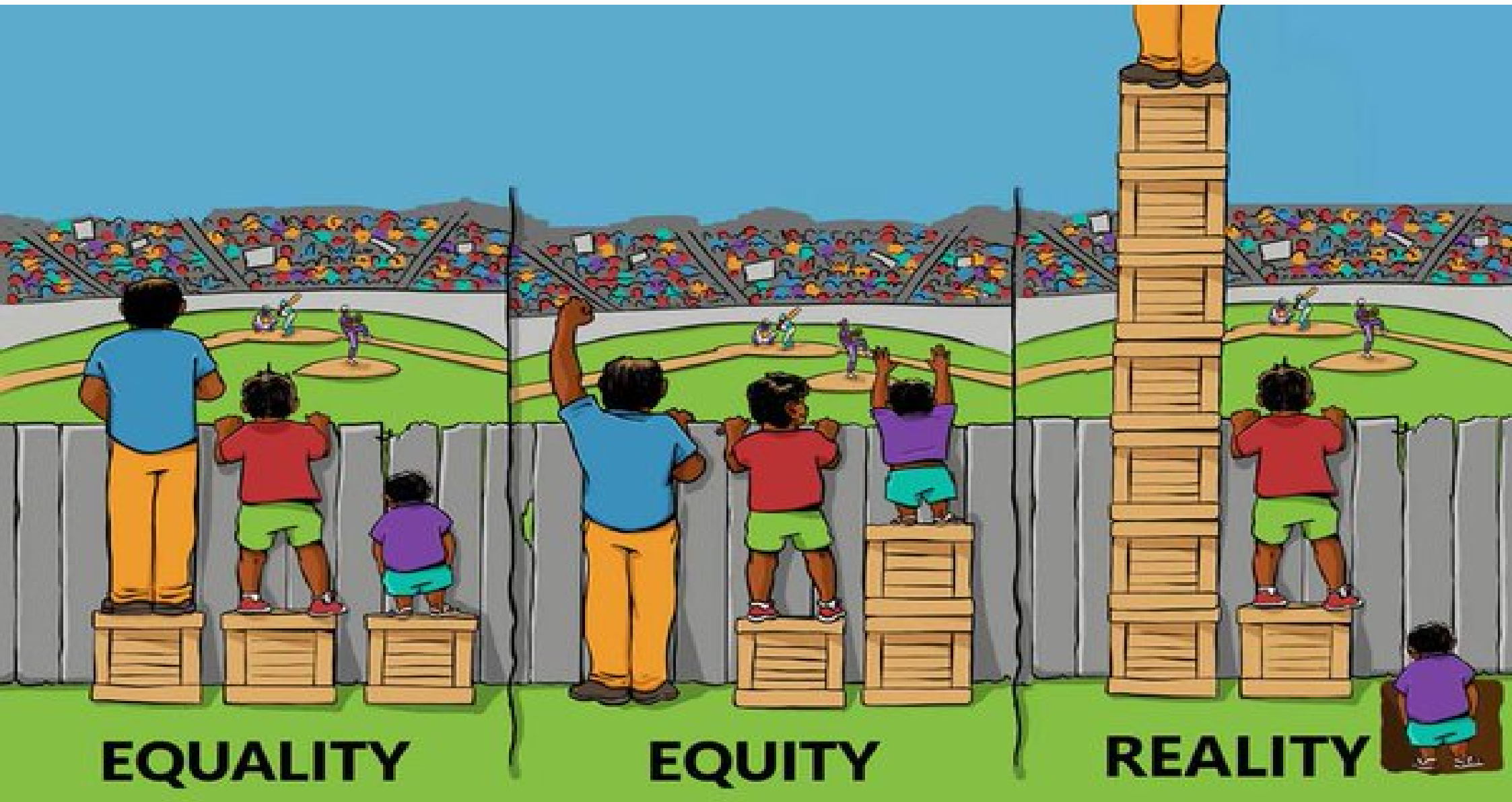


働くドクターストレス調査

に続いて

女性医師・研究者の妊娠・出産
に対する意識とその実態

のアンケート調査を実施予定



EQUALITY

EQUITY

REALITY